



平成22年8月25日  
内閣府（防災担当）

## 平成22年度「防災の日」総合防災訓練について

各省庁における具体的な災害応急活動を点検し、政府として防災組織体制の機能の確認や実効性を検証するため、各防災関係機関相互の連携及び防災対応力の向上を図る訓練を以下のとおり実施する。

### 1 政府本部運営訓練

東海地震と東南海・南海地震が連動して発生した場合（以下「三連動地震」という。）を初めて想定し、内閣総理大臣（調整中）以下全閣僚が参加して、地震災害応急対策の実施体制の確保等を図る訓練を行う。

具体的には、官邸において三連動地震発生時の政府の広域応援の活動内容等について、緊急災害対策本部会議（本部長：内閣総理大臣、副本部長：防災担当大臣、内閣官房長官）の訓練を行うとともに、国民への呼びかけを総理会見として訓練する。

#### （1）地震の想定

- 三連動地震 東海地震・東南海地震・南海地震が突発的に同時に発生した場合を想定

（中央防災会議東南海、南海地震等に関する専門調査会「東南海、南海地震の被害想定について」（平成15年9月17日）における「想定東海地震、東南海地震、南海地震の震源域が同時に破壊される場合」を想定）

- 発生日時 9月1日（水）7時00分頃
- 震源地 和歌山県南方沖
- 地震規模 マグニチュード8.7
- 最大震度 震度7（静岡県、愛知県、三重県、和歌山県など）

#### （2）訓練の概要（調整中）

時間	場所	項目
8:25～8:55	官邸 4F 大会議室	第1回緊急災害対策本部会議 （会議冒頭公開）
9:00～9:05	官邸 1F 記者会見室	内閣総理大臣会見 （公開）

## 2 政府現地本部訓練

- (1) 東海地震（予知型）における政府現地本部の開設・運営について、静岡県防災訓練の場を活用し、注意情報発表、警戒宣言発令から発災前後の一連の状況下で実施する。

設置予定場所である静岡県庁に、実際に現地本部を開設するため、現地本部長（内閣府副大臣）、本部要員、DMAT事務局、県要請のボランティア・コーディネータが本部資機材とともに立川広域防災基地から自衛隊ヘリにより、静岡県庁に移動する。

### (2) 訓練の概要

8月31日（火）	東海地震注意情報	現地本部要員派遣・資機材搬送
	警戒宣言発令	現地警戒本部設置 現地本部合同会議（国・県）
9月1日（水）	発災	現地対策本部設置（想定）

## 3 政府調査団派遣訓練

- (1) 東海地震を想定した静岡県総合防災訓練の現地会場（静岡県伊東市）に、政府調査団（団長：内閣総理大臣（調整中））を派遣する（別紙1）。
- (2) 首都直下地震を想定した九都県市合同防災訓練の現地会場（千葉県君津市）に政府調査団（団長：内閣府大臣政務官）を派遣する（別紙2）。

## 4 広域医療搬送訓練

- (1) 東海地震応急対策活動要領（中央防災会議）に基づく広域医療搬送に関する総合的な実動訓練を実施して、当該活動に係る組織体制の機能と実効性に関する検証を行うとともに、防災関係機関相互の協力の円滑化を図る（別紙3）。

### (2) 訓練の概要

実施日	9月1日（水）
参加機関等	内閣官房、内閣府、消防庁、厚生労働省、国土交通省、防衛省、DMAT事務局、静岡県、北海道、千葉県、埼玉県、岡山県
広域搬送拠点臨時医療施設（SCU）	浜松基地、静岡空港、愛鷹公園
参集拠点	千歳空港、羽田空港、有明の丘防災拠点
域外搬送拠点	岡山空港、下総基地、入間基地

## 5 取材

- ・ 政府本部運営訓練（官邸）における訓練の取材については、官邸報道室にお問い合わせください。
  
- ・ 政府現地本部訓練（静岡県庁）における訓練の取材については、以下のとおりです。
  - （１） 現地の担当職員の指示に従ってください。
  - （２） 受付場所、受付時間及び撮影可能エリア等については、別紙４を参照してください。
  - （３） 取材を希望される場合は、**8月27日(金)15時までに別紙５にて事前登録**をお願いいたします。
  - （４） 取材をされる方は、社名入りの腕章を着用してください。
  - （５） 日程・スケジュール等は、予定であり、今後変更・中止されることがありますので御了承ください。
  
- ・ 政府調査団派遣訓練（静岡県伊東市）の取材については、静岡県広報課にお問い合わせください。
  
- ・ 政府調査団派遣訓練（千葉県君津市）の取材については、千葉県総務部消防地震防災課にお問い合わせください。
  
- ・ 広域医療搬送訓練の取材については、以下のとおりです。
  - （１） 千歳基地、浜松基地、静岡空港、愛鷹公園、岡山空港、下総基地のみ取材可能です。
  - （２） 各訓練会場の取材については、入場登録等の事前手続きが必要となりますので、＜お問い合わせ先＞●広域医療搬送訓練の各県担当課にお問い合わせください。  
なお、静岡空港の取材登録については、8月26日（木）17時までとなっていますので、ご注意ください。

## 6 その他

- ・ 政府調査団派遣訓練 3（１）関係の行動予定等については、後日発表いたします。

<お問い合わせ先>

【訓練全般に関すること】

内閣府政策統括官（防災担当）付

参事官（災害応急対策担当） 山崎 一樹

企画官（災害応急対策担当） 森 毅彦

災害応急対策担当参事官補佐 白石 雅寛

TEL 03-3501-5695（直通）

【政府現地本部訓練・広域医療搬送訓練に関すること】

内閣府政策統括官（防災担当）付

災害応急対策担当参事官補佐 西 正明

TEL 03-3501-5695（直通）

【取材に関すること】

● 政府本部運営訓練（官邸）

官邸報道室 TEL 03-3581-0101（代表）

● 政府現地本部訓練（静岡県庁）

内閣府政策統括官（防災担当）付

災害予防担当参事官補佐 宮川 誠

同主査 河元 隆利

TEL 03-3501-6996（直通） FAX 03-3581-8933

● 政府調査団派遣訓練（静岡県伊東市）

静岡県広報課 TEL 054-221-2903

● 政府調査団派遣訓練（千葉県君津市）

千葉県総務部消防地震防災課 TEL 043-223-2297

● 広域医療搬送訓練の各県担当課

千歳基地 北海道医療薬務課 TEL 011-204-5250

浜松基地 静岡県危機対策課 TEL 054-221-3601

静岡空港

愛鷹公園

岡山空港 岡山県危機管理課 TEL 086-226-7293

下総基地 千葉県医療整備課 TEL 043-223-3886

9月1日(水) 11:00頃~12:30頃(調整中)

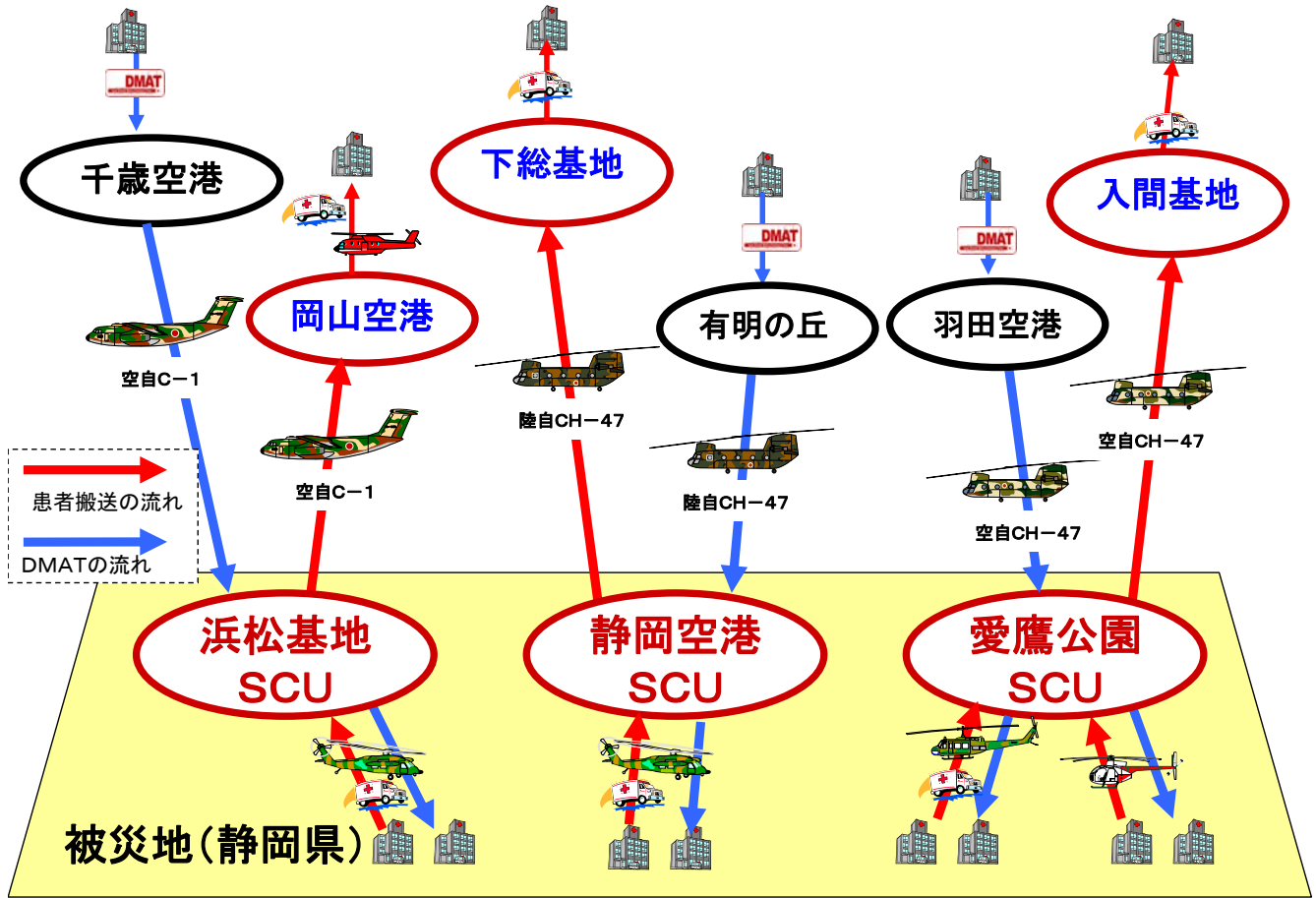


9月1日(水) 11:00頃～14:00頃



# 広域医療搬送訓練概要図

別紙3



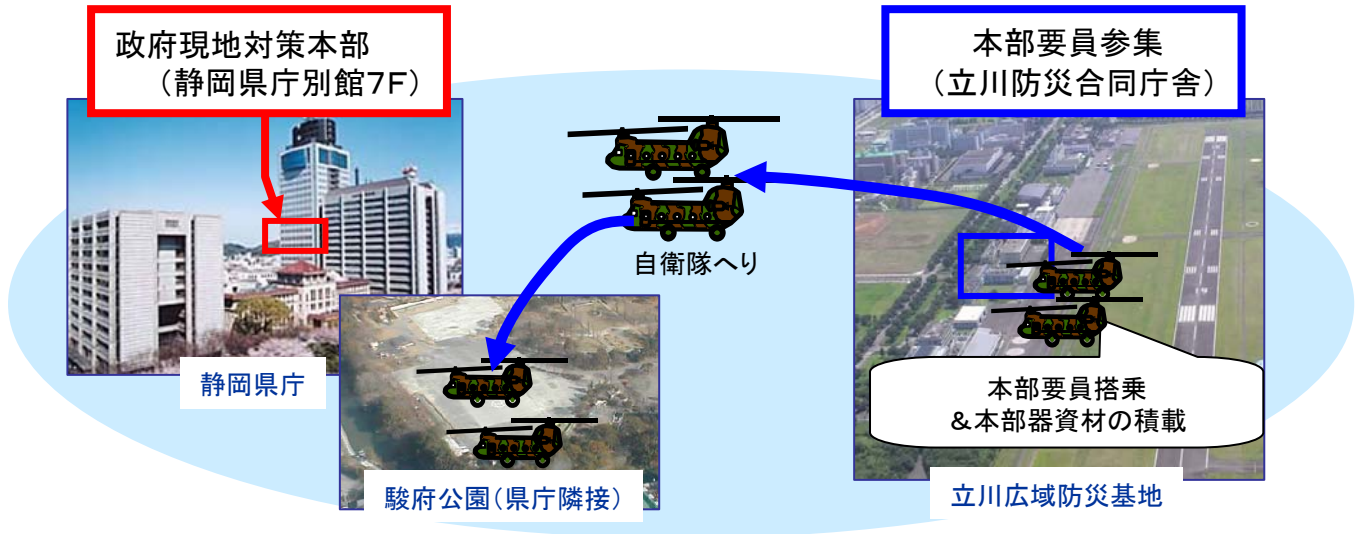
## 広域医療搬送訓練 各拠点における訓練実施概要

時刻	千歳基地	愛鷹公園	浜松基地	静岡空港	岡山空港	下総基地
10:00頃	DMAT、自衛隊機で浜松基地へ移動	—	—	—	—	—
10:40頃	—	自衛隊機到着 患者受入訓練	—	—	—	—
12:00頃	—	患者受入訓練	自衛隊機到着 患者受入訓練	—	—	—
13:00頃	—	自衛隊機へ患者を収容	患者受入訓練	—	—	—
13:30頃	自衛隊機到着 患者受入訓練			—	—	
14:00頃	—	自衛隊機入間基地へ出発	自衛隊機へ患者を収容	自衛隊機へ患者を収容	—	—
15:00頃	—	—	自衛隊機岡山空港へ出発	自衛隊機へ患者を収容	—	—
15:30頃	—	—	—	自衛隊機下総基地へ出発	—	—
16:00頃	—	—	—	—	自衛隊機到着し患者を病院へ搬送	—
16:40~17:00頃	—	—	—	—	—	自衛隊機到着し患者を病院へ搬送

※取材可能な拠点のみ表示

# 政府現地本部訓練における取材概要について

別紙4



訓練場所	静岡県庁別館7階	立川防災合同庁舎
所在	静岡県静岡市追手町9-6	東京都立川市緑町3567
受付日時・場所	8月31日(火) 15:15 静岡県庁別館1階ロビー	8月31日(火) 9:45 立川防災合同庁舎玄関ホール
訓練内容	15:45~16:15 政府現地警戒本部会議 16:20~16:30 現地本部合同会議 (政府、静岡県)	10:10 本部長(副大臣)訓辞 10:20 自衛隊機離陸
留意事項	オペレーションルームや本部会議室では、取材エリアを明示しますので、その範囲内で取材をお願いします。	荒天等により自衛隊機が飛行しない場合は、陸路で要員及び資器材を輸送するため、立川での訓練は中止します。





内閣府政策統括官（防災担当）広報担当行（FAX 03-3597-9091）

## 平成22年度「防災の日」総合防災訓練

### 政府現地本部訓練（静岡県庁）の取材事前登録

お申し込み期日：平成22年8月27日（金）15時まで

1. 報道機関名：

---

2. 取材代表者氏名及び連絡先：

---

  
(急な中止、変更があり得ますので、連絡先は携帯番号をお願いします。)

3. 取材記者名等

記者名等（所属、お名前、連絡先など）			
所 属			
取材記者名（代表者）			
取材スタッフ名			
取材スタッフ名			
取材スタッフ名			
代表者連絡先（携帯）			
カメラ撮り	あり	ムービー	なし
		スチール	
取材車両ナンバー			

注1：警備の都合上、取材者全員について登録をお願いします。（フルネームをお願いします。）

注2：カメラ撮り取材の別（あり・なし）に○を付けてください。また、「カメラ撮り」を行う場合は、ムービー・スチールの区別に○を付けてください。

注3：警備の都合上、取材の際には、必ず全員自社の腕章を着けてください。

## 1. 総 合 防 災 訓 練 の 実 績

○平成22年度の訓練は、昭和46年度の「震災対策通信訓練」開始以降39回目

## 2. 訓 練 参 加 人 員 等 に つ い て

○ 全国における防災週間中（8月30日～9月5日）の防災訓練参加人員（概数）

47都道府県・・・・・・・・・・・・・・・・ 1,586千人

(1) 防災週間中（9月1日を除く。）の参加人員

44都道府県・・・・・・・・・・・・・・・・ 908千人

(2) 防災の日（9月1日）

35都道府県・・・・・・・・・・・・・・・・ 678千人